※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　政治・経済(第一学習社)						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校で得た社会的な知識をふまえて、政治、経済分野におけるグラフや表、地図などから情報を読み取る能力や、現代の社会的事象を多面的にとらえるとともに、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会に有為な公民としての資質・能力を育成する。

２　学習の到達目標

a：知識・技能
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探求するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

b：思考・判断・表現
国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。

c：主体的に学習に取り組む態度
よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代の政治	現代日本の政治･経済 1、政治と法の意義と機能 2、法の支配と立憲主義 3、基本的人権の保障と日本国憲法 4、現代社会における新しい人権 5、権利と義務の関係 6、議会制民主主義と世界の政治体制 7、国会の組織と立法 8、内閣の機構と行政	・政治や政治権力の意味とその役割について，理解している。 ・法の意義と機能について多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・基本的人権が確立した背景や経緯について，理解している。 ・個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・新しい人権が主張されるようになった背景や，新しい人権の具体的内容について，理解している。 ・権利と義務との関係について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・民主政治の考え方と，議院内閣制や大統領制の特徴について，理解している。 ・国会の課題について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・日本の内閣と国会の関係について，理解している。 ・内閣総理大臣と内閣の権限について，理解している。	定期考査 定期考査 定期考査 定期考査 定期考査	 課題提出 小テスト 課題提出 小テスト	ノート提出 振り返りシート ノート提出

※令和４年度以降入学生用

二学期	現代の経済	市場経済の機能と限界 1、経済活動と市場 2、経済主体と経済循環 3、国民経済の大きさと経済成長 4、物価と景気変動 5、市場の失敗と公害･消費者問題 諸課題へのアプローチ 「外部不経済の内部化の方法」	・経済の役割と，市場経済における人々の選択について，理解している。 ・価格はどのようにして決まるのか，具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・三つの経済主体の活動と，経済循環における役割について，理解している。 ・株式会社のしくみと株主との関係について，理解している。 ・経済成長率における名目と実質の違いや，経済成長の要因について，理解している。 ・インフレとデフレの原因と影響，景気変動のしくみについて，理解している。 ・物価や景気の変動に対する政府の施策について，理解している。 ・さまざまな市場の失敗の事例と，その弊害について，理解している。 ・公害と消費者問題に対する施策について，理解している。 ・市場の機能と限界や解決のあり方について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・「市場経済の機能と限界」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 定期考査	小テスト 課題提出 課題提出	ノート提出 振り返りシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	現代の国際政治・経済	国際法の果たす役割 1、国際社会の変遷 2、国際法の意義 3、国際機構の役割 4、国際紛争と軍縮への取り組み 諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」	・21 世紀以降の国際社会の動向について，理解している。 ・国際社会の多極化や国際協力について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際法と国内法の違いや，国際法の種類や特徴について，理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて，理解している。 ・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて，国際連合はどのような役割を強化するべきか，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか，理解している。 ・核兵器廃絶のために、どのような努力がなされてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法の果たす役割について，国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて，将来，国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている	定期考査 定期考査 小テスト 課題提出 定期考査 課題提出 小テスト	 <

※令和４年度以降入学生用

三学期	国際経済	国際経済の特質 1、貿易の現状と意義 2、国民経済と国際収支 3、為替相場の変動 4、国際協調と国際経済機関の役割 5、国際経済のおける日本の地位と国際協力 諸課題へのアプローチ 「国際経済の安定と成長に向けた日本の役割」	・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について，考察し，表現している。 ・国際収支統計の基本的な構成について，理解している。 ・国際収支の動向をもとに，日本の対外経済取引の現状について，考察し，表現している。 ・日本の対ドル為替相場の推移と，日本経済の動向について，理解している。 ・さまざまな国際経済機関の役割や課題について，理解している。 ・地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題について，考察し，表現している。 ・国際経済における日本の地位について，理解している。 ・国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について，考察，構想し，表現している。 ・「国際経済において求められる日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 定期考査 定期考査	課題提出 小テスト 小テスト 課題提出	ノート提出 振り返りシート ノート提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度